

学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成23年2月1日(火) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

発 表 事 項

1. 宮城県の機関と初めて相互協力の覚書
2. 国際学術講演会「共振する東アジア 2－東アジアの言語の将来－」
3. 科学が文化になるときをめざせ！
4. ♪音楽芸術コース 第59回卒業研究発表会♪
5. 新発見！最上義光文書

お 知 ら せ

1. 大学コンソーシアムやまがた『やまがた夜話』(2月分)
2. 工学部『雪灯籠まつり in 工学部』
3. SCITAセンター『科学体験教室』
4. 工学部『有機エレクトロニクス シンポジウム in 米沢 2011』
5. 有機EL研究会『第8回異業種交流会』

(参 考)

- 次回の学長定例記者会見(予定)

日 時：平成23年2月15日(火) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

平成23年2月1日
山形大学

宮城県の機関と初めて相互協力の覚書

山形大学国際事業化研究センターが、宮城県の機関としては初めてとなる産業技術総合センターと相互協力に関する覚書を交わします。

1. 相互協力の目的

国際事業化研究センターと宮城県産業技術総合センターは、企業に対する基盤技術高度化支援の取組を相互に協力することにより、地域産業の競争力強化及び地域経済の発展を図ります。

2. 相互協力の内容

地域企業の基盤技術高度化支援の重要性を認識し、相互に協力する。

- ①地域企業に対する技術的支援
- ②地域企業の基盤技術高度化に資する情報の発信

3. 相互協力の具体的内容

宮城県産業技術総合センターが窓口である、KCみやぎ参画学術機関で対応・解決できない技術相談への対応や山形大学で対応・解決できない技術相談、分析、試験、評価等のKCみやぎによる対応を実施します。

山形県内企業や宮城県内企業に対して、山形大学教員、KCみやぎ学術機関教員の相互派遣を行います。

4. 覚書の取り交わし等

平成23年2月1日（火、本日）13：30～ ホテル仙台プラザ

※KCみやぎ（KCみやぎ推進ネットワーク）：

KCみやぎは、地域企業の基盤技術の高度化と地域産業の競争力強化などを目的に、平成17年度に活動を開始し、平成20年1月には産業団体等の支援機関を含めたKCみやぎ推進ネットワークが構築され、現在、9の学術機関、11の支援機関と宮城県（新産業振興課、産業技術総合センター）で活動しています。

※国際事業化研究センター：

平成21年10月1日、地域共同研究センターとベンチャー・ビジネス・ラボラトリーが統合され、新たに山形大学国際事業化研究センターが設立されました。広く産業界との連携を強化し、国際的な視野からの実用化研究促進、研究成果の事業化、そして研究成果を事業化できる人材の育成を図ることで、地域産業へ貢献します。

（お問い合わせ）

山形大学工学部研究支援室 今野
電話：0238(26)3600

お客様〔地域企業〕

KCみやぎ 推進ネットワーク

事務局：宮城県経済商工観光部
新産業振興課

技術相談

問題解決

KCみやぎ技術相談窓口
(宮城県産業技術総合センター)

ネットワーク全体で
地域企業の皆様の課題解決を支援します。

〔学術研究機関〕

基盤技術高度化支援に係る相互協力協定

大学・高専等

石巻専修大学	東北職業能力開発大学校
一関工業高等専門学校	東北大学
仙台高等専門学校	東北文化学園大学
東北学院大学	宮城教育大学
東北工業大学	宮城大学
	宮城県産業技術総合センター

〔経済・産業団体〕

仙台商工
会議所

(社)みやぎ
工業会

〔金融機関〕

(株)七十七銀行

(株)日本政策金融
公庫仙台支店
中小企業事業

(株)三井住友銀行
東北法人営業部

〔経営・インキュベーション支援〕

(財)岩手県南技術
研究センター

(株)インテリジェント
コスモス研究機構

(独)科学技術振興機構
JSTイノベーション
プラザ宮城

(財)仙台市産業
振興事業団

(株)テクノプラザ
みやぎ

(財)みやぎ
産業振興機構

相互連携

山形大学
(国際事業化研究センター)

平成23年2月1日
山形大学

国際学術講演会「共振する東アジア2ー東アジアの言語の将来ー」

人文学部では、国際理解を深めるために、東アジアにおける言語の現状と将来にスポットを当てた講演会を開催します。

日時：平成23年2月19日（土）13:00～17:30
会場：山形大学人文学部第一会議室（山形市・人文学部1号館4階）

参加費・申し込みは不要です。

近年の東アジアの経済発展を承けて、日本と東アジアとの関係はますます密接になっています。近い将来、東アジア全体が一つの経済圏となるかも知れません。

英語は、現在では「世界語」となりましたが、東アジアには東アジア固有の言葉があります。

これらを利用した、より効率的で密接なコミュニケーションの実現を目指すために、日本と台湾の第一線で活躍する研究者を集め、言葉に関するさまざまな可能性について討論していきます。

プログラム

■第一部報告：13:00～14:55

中澤信幸（山形大学人文学部准教授）

『日台大辞典』と東アジア共通漢字

林玉恵（銘傳大学応用日語学系副教授）

台湾で使用されている日本語初級教科書の種類とその特徴

陳麗君（成功大学台湾文学系助理教授）

台湾における言語接触と文法化 — 台湾閩南語と台湾中国語を例に —

■第二部報告：15:00～17:30

金城ひろみ（琉球大学法文学部講師）

琉球人が学んだ中国語 — 『琉球官話集』を例に —

林慶勳（中山大学中国文学系教授）

古きをもって今を鑑る — 東アジア言語相互の「官語」と「寄語」について語る —

（お問い合わせ）

人文学部人間文化学科 中澤信幸准教授

TEL：023-628-4822

人文学部総務チーム（TEL：023-628-4203）

共振する東アジア2

東アジアの言語の将来



2011.2.19 土
午後1:00~午後5:30

[会場] 山形大学小白川キャンパス
人文学部1号館4F 第1会議室

[対象] 高校生・大学生・一般市民

[参加費] 無料

『日台大辞典』と東アジア共通漢字

山形大学人文学部 准教授 中澤 信幸

台湾で使用されている日本語初級教科書の種類とその特徴

銘傳大学応用日語学系 副教授 林 玉 恵

台湾における言語接触と文法化

—台湾閩南語と台湾中国語を例に—

成功大学台湾文学系 助理教授 陳 麗 君

琉球人が学んだ中国語 —『琉球官話集』を例に—

琉球大学法文学部 講師 金城ひろみ

古きをもって今を鑑る

—東アジア言語相互の「官語」と「寄語」について語る—

中山大學中国文学系 教授 林 慶 勳

詳しくはチラシ裏面をご覧ください

山形から東アジアへ飛び出そう！ 言葉は私たちをつなぐ架け橋

近年の東アジアの経済発展を承けて、日本と東アジアとの関係はますます密接になっています。近い将来、東アジアが一つの経済圏となるかも知れません。その時に使う言葉は英語ですか？いえいえ、英語は現在では確かに「世界語」となりましたが、東アジアには東アジア固有の言葉があります。これをうまく使いこなすことで、より効率的で密接なコミュニケーションが可能になるかも知れません。本シンポジウムでは日本と台湾の第一線で活躍する研究者を集め、言葉に関するさまざまな可能性について討論していきます。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

『日台大辞典』と東アジア共通漢字

山形大学人文学部 准教授 **中澤信幸**

明治40年(1907)刊行の『日台大辞典』付載「日台字音便覧」をもとに、日本漢字音と台湾語音との関連性を考え、さらに東アジア共通漢字の可能性についても考えていきます。

台湾で使用されている日本語初級教科書の種類とその特徴

銘傳大学応用日語学系 副教授 **林玉恵**

日本語学習者が多い台湾では、日本語初級教科書は非常に重要な役割を果たしています。ここでは台湾で使用されている日本語初級教科書の種類と、その特徴について考察します。

台湾における言語接触と文法化 —台湾閩南語と台湾中国語を例に—

成功大学台湾文学系 助理教授 **陳麗君**

台湾では台湾語と中国語がお互いに影響し合うことによって、新しい「言葉」が話し手を持つクレオール現象が起こりました。ここでは語用・認知意味論の立場から、新たに生まれた「言葉」の解析に挑みます。

琉球人が学んだ中国語 —『琉球官話集』を例に—

琉球大学法文学部 講師 **金城ひろみ**

明清時代、琉球人が「官話」(中国語)学習に用いたテキスト「琉球官話課本」において、語彙集である『琉球官話集』を中心に、当時の中国語テキストの内容や特徴、問題点等について紹介します。

古きをもって今を鑑る —東アジア言語相互の「官語」と「寄語」について語る—

中山大学中国文学系 教授 **林慶勳**

17世紀以来東アジアの朝鮮・日本・琉球では、「官話」の学習をもって、中国との貿易・冊封・朝貢・倭寇対策および漂流民等の問題に対処してきました。この背景をもとに、17~19世紀の言語資料と各問題との関係について語ります。

スケジュール

2月19日(土) 13:00 開会挨拶

第一部報告

13:05~13:35 中澤信幸

13:35~14:05 林玉恵

14:05~14:10 休憩

14:10~14:40 陳麗君

14:40~14:55 第一部 質疑応答

14:55~15:00 休憩

第二部報告

15:00~15:30 金城ひろみ

15:30~16:00 林慶勳

16:00~16:15 第二部 質疑応答

16:15~16:25 休憩

16:25~17:25 パネルディスカッション

17:25~17:30 閉会挨拶

平成23年2月1日
山形大学

科学が文化になるときをめざせ！

新しい理科教育のトレンド「科学文化」形成のためのシンポジウムを開催します。

日時：平成23年2月11日（金・建国記念の日）13:00～17:00
会場：山形県生涯学習センター（遊学館）大ホール（山形市緑町1-2-36）
プログラム：別添の資料をご覧ください。
参加費・申し込みは不要です。

近年、科学技術の著しい進歩とはうらはらに理科離れが問題となっています。大学など研究教育機関や社会教育施設、初等中等教育の学校現場では様々な取り組みが行われ、現在では非常に活発に科学教育、科学技術の理解増進活動が行われています。

活動方法も進歩し、専門家と市民の双方向的な活動、たとえば、サイエンスカフェやサイエンスコミュニケーターの養成などのトレンドが出てきました。

このような流れのなか、理学部では公開講座、トワイライト講座、サイエンスサマースクール、やまがた天文台、星のソムリエ養成事業、高大連携事業などを進めてきました。

このたび理学部では、「科学文化の拠点形成@やまがたプロジェクト」として、**科学を市民の日常生活に浸透したものにす活動、「科学文化」形成**という新しい取り組みを進めます。

宇宙から生物、映画制作にいたるまで、幅広い分野を横断しての楽しい講演会です。科学に興味のある市民の皆さん、科学教育に興味のある皆さんの参加をお待ちしております。

（お問い合わせ）

科学文化の拠点形成@やまがた推進準備室
電話023-628-4552

科学が文化に

新しい
理科教育のトレンド

「科学文化の拠点形成@やまがたプロジェクト」シンポジウム
山形大学理学部 生涯学習部

なるときをめざせ!

～科学理解増進の新しい世界～

音楽やスポーツが日常を豊かにしてくれるように科学が心を豊かにしてくれる、心のアクセサリーにちょっと科学をあしらうことで幸せな気持ちになれる、そんな時代を目指します。全国の「星のソムリエTM」が教えてくれた科学文化形成という新しい道を発展させ、科学の教育や普及について語り合しましょう。

宇宙から生物、映画制作にいたるまで幅広い分野を横断しての楽しい講演会です。科学に興味のおありの市民の皆さん、科学教育に興味のある皆さんの参加をお待ちしております。

日時 / 2011年

2月11日 金 祝日

13:00-17:00 (受付開始: 12:30)

※裏面のプログラムをご参照下さい。

場所 /

山形県生涯学習センター
(遊学館) 大ホール

参加費無料

申込方法 /

当日自由に御参加ください

事前に申し込まれた方には
記念品を差し上げます(先着50名)。



主催: 山形大学理学部

後援: 財団法人山形県生涯学習文化財団・山形県教育委員会・山形市教育委員会・NPO法人小さな天文学者の会

プログラム

13:00～17:00

「科学文化の拠点形成@やまがたプロジェクト」のめざすもの

山形大学理学部教授：柴田 晋平

「ホットスポットに生きる日本人の文化としての生物多様性」

山形大学理学部教授：横山 潤

「数学は文科(文化)と理科(科学)をつなぐことば」

山形大学理学部准教授：井ノ口 順一

「クラゲ学習会～クラゲの不思議をのぞいて生物に興味を持とう～」

加茂水族館副館長：奥泉 和也

「理科教育・科学教育の拠点施設としての取り組み」

最上教育研究センター主事：高橋 敏彦

「見るということ・撮るということ」

東北芸術工科大学教授：加藤 到

「科学文化によるまちづくり～

国立天文台 科学文化形成ユニットが目指すもの～」

国立天文台天文情報センター准教授：縣 秀彦

議論の時間

司会：柴田 晋平

19:00～21:00 懇親会

場所：山形市七日町「花の種(予定)」

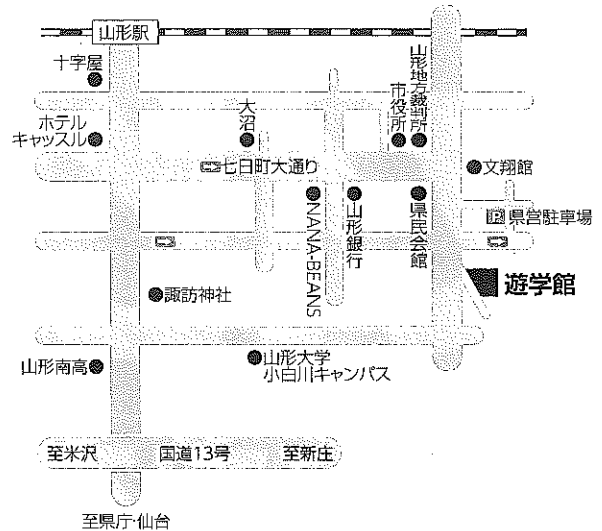
会費：ひとり4,000円

※会費は当日懇親会会場にて受付致します。尚、先着15名のお申し込みとさせていただきますので、ご了承下さい。

会場

遊学館 大ホール

※県営駐車場をご利用の方には補助券をお出しますので、当日、遊学館受付で駐車券をご提示下さい。



参加費 / 無料
参加申し込み書

「科学文化の拠点形成@やまがたプロジェクト」シンポジウム ～科学が文化になるときをめざせ!～

◎おなまえ(ふりがな)

男性 女性

◎ご住所 〒

◎TEL

()

◎FAX

()

◎メールアドレス

◎懇親会

参加 ・ 不参加

個人情報：参加申込み時にいただきました
個人情報は、本事業に関する準備・連絡以外
には使用いたしません。

お問い合わせ・お申し込み先 必要事項をご記入の上、FAXあるいはメールでお申し込み下さい

科学文化の拠点形成@やまがた推進準備室 〒990-8560 山形市小白川一丁目4-12

tel.023-628-4552(柴田研究室) fax.023-628-4567(理学部物理学科) E-mail:ukb@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

県営駐車場をご利用の方には補助券をお出しますので、当日、遊学館受付で駐車券をご提示下さい。

平成23年2月1日
山形大学

♪音楽芸術コース 第59回卒業研究発表会♪

地域教育文化学部音楽芸術コース4年生22名が、4年間の集大成となる演奏会を開催します。

日時： 平成23年2月7日(月)声楽・管楽器
8日(火)ピアノ・弦楽器
開場16:30 開演17:00
会場： 山形テルサ テルサホール（山形市双葉町1-2-3 TEL:023-646-6677）

入場無料です。

59回を数える、地域教育文化学部音楽芸術コースの卒業研究発表会では、4年生22名が、それぞれが専攻する声楽・管楽器・ピアノ・弦楽器をソロで演奏します。

当初は、中央公民館のホールで開催していましたが、大学生活4年間の集大成となる研究発表会なので、10年ほど前からテルサホールで開催しています。

テルサホールは、国内有数の音響を誇るホールです。また、世界三大ピアノの一つとして、多くの有名ピアニストから愛用されているスタインウェイの音色と響きを体験できる、貴重な機会だと思っています。

是非、この卒業研究発表会に来場いただき、音楽芸術コース22名の演奏と、テルサホールの豊かな響きをお楽しみください。

(お問い合わせ)

地域教育文化学部文化創造学科 藤野研究室
TEL:023-628-4330

平成23年2月1日
山形大学

新発見！最上義光文書

都市地域学研究所長 松尾剛次^{けんじ} 人文学部教授が新たな最上義光文書
2点を発見しました。

山形大学バーチャル研究所「都市地域学研究所」松尾剛次 所長は、平成23年1月8日（土）、13日（木）の両日、鶴岡市立図書館郷土資料室にて、新たに最上義光文書2点を発見しました。

今回、新たに発見された2点の最上義光文書は、いずれも慶長16年8月12日付の原美濃頼秀、進藤但馬安清の連署があり、日下に最上義光の黒印（黒い判子、分かりやすくするために、赤丸で囲んでいる）が据えられている文書です。

いずれも、慶長16（1611）年3月23日付で従四位下少将に就任した最上義光への御祝儀への礼状で、原美濃頼秀、進藤但馬安清が義光の命を奉じているものです。

とりわけ、別紙図（3）は写ではなく、原史料（大きさは34.2×17.2cm）で大変貴重なものです。

原美濃頼秀、進藤但馬安清は、それぞれ、尾浦（大山）城代下秀久と亀ヶ崎（酒田）城代志村光安の家臣で、庄内支配を担う吏僚といえます。

その時期、庄内では、原美濃頼秀、進藤但馬安清の二人が、種々の義光の命令を、伝える役割を担っていたことがわかります。

その意味で、最上義光の庄内支配のありようを理解するうえで、大変貴重な史料といえます。

※バーチャル研究所とは：

自主的共同研究の推進を支援し本学の研究活動の活性化を図るために、社会的要請の高い分野、学際的分野、先駆的分野などにおいて学部を横断した自主的共同研究を行う大学認定の研究組織です。

(お問い合わせ)

山形大学人文学部人間文化学科 松尾
電話:023(628)4917

史料（１）

平成23年1月8日（土）、「庄内古文書影写集」の中に、『山形市史 史料編1』（山形市、1973）で「雞肋編」所収文書三〇「原美濃外連署書状」として紹介されているものと同一文書を発見した。

『山形市史 史料編1』の方の文書には、最上義光の黒印（黒い判子）は記されていないが、図（1）のように影写の方にはある（分かりやすくするために、赤丸で囲んだ）。それゆえ、新たな最上義光文書となる。

豎紙

おほへ

一、銀子三匁ハ 市田五さゑもん所より

以上

慶長十六年八月十二日

一、せんす 仁本 同たい丸

以上

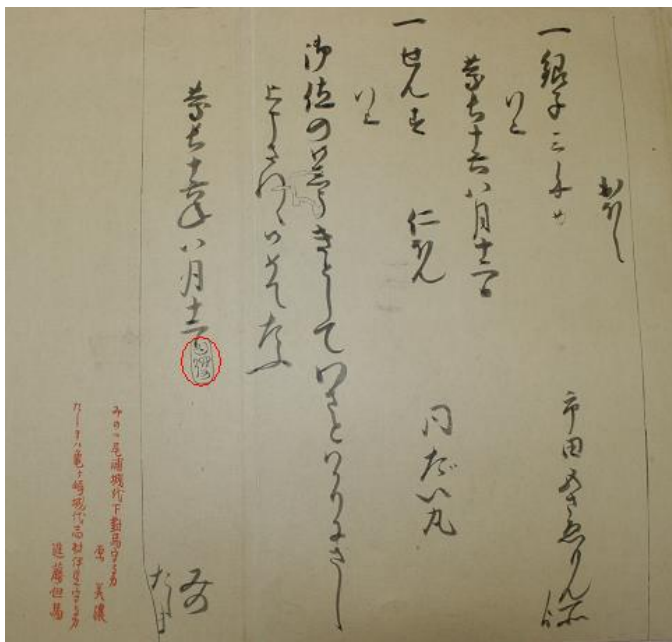
御位の御しうきとして、わさとはかりにさし上申され候、御めてたふ

（原）

慶長十六年八月十二日

みの
（進藤）
たしま

図（1）



参考に図（2）として、
義光の黒印の写真を挙げる。

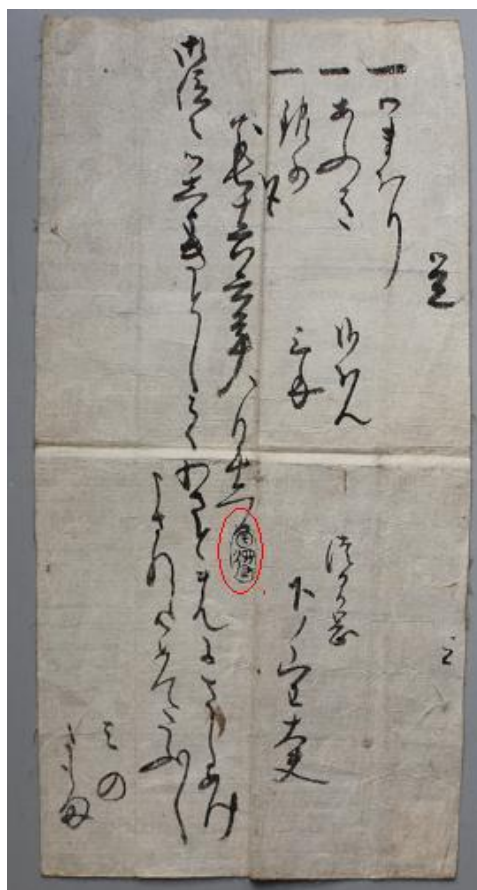


史料（２）

平成２３年１月１３日（木）には、日枝神社文書（日枝神社文書２）中に、新たな最上義光文書を発見した。

『鶴岡市史資料編 庄内史料集１－１ 古代・中世史料 上』（鶴岡市、２００２）に、史料（２）のように翻刻・紹介されてきたが、日枝神社文書の現物（図（３））を見ると、年付け（年月日）の下に最上義光の黒印（赤丸で囲んでいる）がある。それゆえ、新たな最上義光文書の発見となる。

図（３）



覚

- 一、 御まほり
- 一、 あふき 弍ほん
- 一、 銀子 三匁

以上

つるか岡

下ノ山王大夫

慶長十六亥年八月十二日

御位之御しうきとして、わさとまてにさしあけ申
され候、御めてたふ\

（原）

ミ の

（進藤）

たしま

プレス通知資料（概要）

平成23年2月1日
山形大学

1. 大学コンソーシアムやまがた『やまがた夜話』（2月分）

（概要）「大学コンソーシアムやまがた」では、「もう一つの人づくり」を実現するため、「山形県の人・モノ・地域作り」をテーマにそれぞれの得意分野をわかりやすくお話しします。

【第11回】

日時:平成23年2月2日(水) 18:30～19:30

講師:大川健嗣 氏(東北文教大学教授、山形大学名誉教授)

「ブナの森から考える地域づくり」

【第12回】

日時:平成23年2月9日(水) 18:30～19:30

講師:鈴木 洋 氏(金山町長)

「まちづくりー理解と共感ー」

【第13回】

日時:平成23年2月16日(水) 18:30～19:30

講師:安房 毅 氏(株式会社タカハタ電子 代表取締役)

「逞しい モノ創り ひと創り ゆめ創り」

【第14回】

日時:平成23年2月23日(水) 18:30～19:30

講師:平林千春 氏(東北芸術工科大学教授)

「市場創発型産学連携プロジェクトの展開」

場所:ゆうキャンパス・ステーション(山形市:山形むらきさわビル1階)

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:大学コンソーシアムやまがた事務局

(TEL)023-628-4842

2. 工学部『雪灯籠まつり in 工学部』

（概要）今年も「上杉雪灯籠まつり」の開催にあわせ、工学部キャンパス内に学生・教職員がまつり気分を盛り上げるために、雪灯籠・雪ぼんぼりを多数製作し、展示・点灯します。

日時:平成23年2月12日(土)～13日(日)

会場:工学部キャンパス内(旧米沢高等工業学校本館(重要文化財)付近)

※参考【第34回上杉雪灯籠まつり】

日時:平成23年2月12日(土)～13日(日)

会場:上杉神社境内・松が岬公園一带

問い合わせ:工学部広報室 青木

(TEL)0238-26-3419

3. SCITAセンター『科学体験教室』

(概要) 『みんなで科学をもっと身近に！』を合い言葉に、科学コミュニケーションをはじめてみませんか。

日 時:平成23年2月13日(日) 10:00~15:00

会 場:イオン山形南ショッピングセンター

参加料無料 小さなお子様は保護者同伴でお願いします。

実施内容:スライム実験、クラゲ観察会、蔵王展、粘菌展、太陽コピー
キーホルダー作り、実験カーダンス

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:SCITAセンター

(TEL)023-628-4506

4. 工学部『有機エレクトロニクス シンポジウム in 米沢 2011

ー有機エレクトロニクスの未来を切り開くー』

(概要) 山形大学・山形県の「地域卓越研究者戦略的結集プログラム((独)科学技術振興機構)」を中心とする産学官連携による有機エレクトロニクス関連研究開発のこれまでの成果と、産業化へ向けた今後の展開について情報発信を行うことにより、異業種間や他地域との交流・融合に発展する取り組みを促進し、産業クラスターの形成を目指します。

日 時:平成23年2月25日(金) 10:00~12:00

(同日午後高分子学会主催 第8回有機EL 異業種交流会を開催)

場 所:伝国の杜 置賜文化ホール(米沢市丸の内)

参加費:無 料

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:工学部研究支援室

(TEL)0238-26-3004

5. 有機EL研究会『第8回異業種交流会』

(概要) 有機ELでは、パネルメーカーをはじめ、発光材料、周辺材料、製造装置、検査装置メーカーなど、多くの業種の企業が関わっております。これらの企業はこれまでなかなか一堂に会する機会がなく、情報発信も一方通行になったり、情報に偏りが生じたりと、異業種企業間での情報交換の場がありませんでした。そこで、本研究会では企業間の交流を深めるため、異業種交流会を開催いたします。

日 時:平成23年2月25日(金) 13:00~19:00

場 所:伝国の杜、上杉城史苑(米沢市丸の内)

参加要領: 1) 定員300名

2) 参加費(銀行振込)

①企業3,150円 ②大学・官公庁2,100円 ③学生1,050円

④名誉・終身・フェロー・ゴールド・シルバー会員1,050円

⑤有機EL研究会メンバー 無料

3) 懇親会費 4,000円(参加費と併せてお振込ください)

プログラム: ショートプレゼンテーションは参加者の前で企業紹介(5分/1社)を、パネル展示はブースを使用して企業紹介を行います。

問い合わせ:(社)高分子学会 有機EL研究会係

〒104-0042 東京都中央区入船3-10-9 新富町ビル6F

(TEL)03-5540-3771 (FAX)03-5540-3737

6. これまでの学長定例会見でお知らせをしたもので開催がせまっているイベント
当日の取材をよろしく願いいたします。

○大学コンソーシアムやまがた『公開シンポジウム』

なんたっす？「大学コンソーシアム」～なして大学は連携するんだべ？～

日 時:平成23年2月7日(月)13:30～16:45

場 所:ホテルメトロポリタン山形(山形市香澄町)

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:大学コンソーシアムやまがた事務

(TEL)023-628-4842

○第2回山形大学雪合戦大会

日 時:平成23年2月12日(土) 12:00 開始予定

場 所:工学部グラウンド(米沢市・工学部キャンパス)

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:工学部学生サポートチーム 学生・就職支援担当

(TEL)0238-26-3017

○大学院理工学研究科『ものづくり技術経営学専攻(MOT)入学説明会』

・山形会場:山形市、上山市、山形大学共催「プロセス革新のための産学連携セミナー」

日 時:平成23年2月17日(木) 14:30～17:00

場 所:山形国際ホテル(山形市)

講 師:山形大学大学院理工学研究科教授 小野 浩幸

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:山形大学大学院理工学研究科ものづくり技術経営学専攻事務局

(TEL)0238-26-3623

○拡がりゆく数学 in 山形 ～数学はどんな形で社会で役立つか～

日 時:平成23年2月20日(日) 13:15～17:40

場 所:山形大学理学部 先端科学実験棟大講義室(山形市・小白川キャンパス)

対 象:高校生及び一般の方 100名程度

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:理学部数理科学科准教授 原田昌晃

(TEL)023-628-4533

○「社会人基礎力育成グランプリ」決勝大会進出

【決勝大会】

日 時:平成23年3月9日(水) 10:30～18:00

場 所:日経ホール(東京都千代田区大手町1-3-7)

問い合わせ:工学部広報室 青木

(TEL)0238-26-3419



やまがた夜話

～山形県の人・モノ・地域づくり編～

第11回

■日時
2月2日(水) ●18:30～19:30
【開場: 18:10】

■講演テーマ

「ブナの森から考える地域づくり」

■講師

大川 健嗣 氏

(東北文教大学 教授 山形大学名誉 教授)



第12回

■日時
2月9日(水) ●18:30～19:30
【開場: 18:10】

■講演テーマ

「まちづくりー理解と共感ー」

■講師

鈴木 洋 氏
(金山町長)



第13回

■日時
2月16日(水) ●18:30～19:30
【開場: 18:10】

■講演テーマ

「逞しいモノ創りひと創りゆめ創り」

■講師

安房 毅 氏

(株式会社タカハタ電子 代表取締役)



第14回

■日時
2月23日(水) ●18:30～19:30
【開場: 18:10】

■講演テーマ

「市場創発型
産学連携プロジェクトの展開」

■講師

平林 千春 氏
(東北芸術工科大学 教授)



対象

高校生・学生・一般市民

入場無料 各定員: 50名

主催

大学コンソーシアムやまがた

アクセス

山形駅東口より徒歩1分。

会場

ゆうキャンパス・ステーション
(山形むらきさわビル1階)

お申込

電話又は、チラシ裏面の参加申込書に必要事項をご記入の上、FAX、郵送、メール等で下記宛お申し込みください。



お申込み・お問合せ



大学コンソーシアムやまがた ゆうキャンパス・ステーション

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらきさわビル1階

TEL:023-628-4842 FAX:023-628-4820 E-mail:unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

やまがた疫話

～山形県の人・モノ・地域づくり編～

参加申込書

必要事項を明記の上、下記宛 FAX・郵送または E-mail にてお申し込み下さい。
みなさんのご参加をお待ちしております。

申込締切日： 第11回目 1月31日(月)
第12回目 2月7日(月)
第13回目 2月14日(月)
第14回目 2月21日(月)

参加日	参加日を○で囲んでください。 1, 平成23年 2月 2日(水) 講師：大川健嗣 氏 2, 平成23年 2月 9日(水) 講師：鈴木 洋 氏 3, 平成23年 2月16日(水) 講師：安房 毅 氏 4, 平成23年 2月23日(水) 講師：平林千春 氏
住所	〒
氏名	
連絡先	TEL
	E-mail
所属	学生の方は学校名を記入

受講申込者が多数の場合は、お手数ですが参加申込書をコピーしてご利用ください。
この申込書にご記入いただいた情報は、今回の講座を受講するために必要な事務連絡等に
使用するとともに、参加者名簿の作成にのみ使用させていただきます。

お申込み・お問合せ先



大学コンソーシアムやまがた ゆうキャンパス・ステーション
〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらきさわビル1階
TEL:023-628-4842 FAX:023-628-4820 E-mail:unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

科学実験教室



日時 平成23年2月13日(日)

10:00~15:00

場所 イオン山形南ショッピングセンター

- ・スライム実験 ・クラゲ観察会
- ・蔵王展 ・粘菌展 ・太陽コピー
- ・キーホルダー作り ・実験カーダンス

参加料無料 小さなお子様は保護者同伴でお願いします

・主催 やまがた「科学の花咲く」プロジェクト(提案:山形県、運営:山形大学)
(JST地域の科学会推進事業「地域ネットワーク支援」)

・共催 鶴岡市立加茂水族館、東北文教大学短期大学部
山形県立博物館、イオン山形南ショッピングセンター
世界化学年2011日本委員会



有機エレクトロニクス シンポジウム in 米沢 2011

有機エレクトロニクスの未来を切り開く

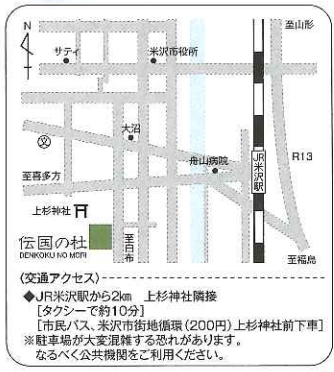


山形大学・山形県の「地域卓越研究者戦略的結集プログラム(独立行政法人科学技術振興機構)」を中心とする産学官連携による有機エレクトロニクス関連研究開発のこれまでの成果と、産業化へ向けた今後の展開について情報発信を行うことにより、異業種間や他地域との交流・融合に発展する取り組みを促進し、産業クラスターの形成を目指します。

日時 平成23年 **2月25日(金)** 午前10:00~12:00
同日午後には高分子学会主催 有機EL研究会 第8回異業種交流会を開催
※詳細はHPをご覧ください→<http://www.spsj.or.jp/entry/annaidetail.asp?kaisaino=604>

会場 伝国の杜 置賜文化ホール 山形県米沢市丸の内1-2-1 TEL 0238-26-2666 **参加費** 無料

- プログラム**
- 10:00~10:05 開会の挨拶**
小山 清人 氏 (山形大学 理事・副学長)
 - 10:05~10:35 基調講演**
「有機薄膜太陽電池の開発と今後の展開」
山岡 弘明 氏 (三菱化学株式会社 OPV事業推進室 統括部長)
 - 10:35~11:35 パネルディスカッション**
山岡 弘明 氏 (三菱化学株式会社 OPV事業推進室 統括部長)
森田 好彦 氏 (Lumiotec株式会社 取締役マーケティング部長)
城戸 淳二 氏 (山形大学 卓越研究教授)
時任 静士 氏 (山形大学 卓越研究教授)
司会 / 柴田 孝 氏 (山形大学 国際事業化研究センター 副センター長)
 - 11:35~12:00 質疑応答**



主催 / 国立大学法人山形大学 後援 / 独立行政法人科学技術振興機構・財団法人山形県産業技術振興機構・米沢市

↓こちらからお申込みください
<http://www.yz.yamagata-u.ac.jp/info/form/yukielsympo2011form-1.php>

上記URLからのお申込みが出来ない方は、FAXにてご送信ください。

有機エレクトロニクス シンポジウム in 米沢 2011				
有機エレクトロニクスの未来を切り開く				
参加申込書	会社名	部署 役職		TEL
	氏名	フリガナ	所在地	FAX
				E-mail

↓携帯からの申込みはこちら



— 個人情報取り扱いについて — ご登録いただいた情報は、参加者の確認にのみ利用させていただきます。

お問い合わせ先: 山形大学工学部 研究支援室

TEL / 0238-26-3004 FAX / 0238-26-3401 E-mail / edison@yz.yamagata-u.ac.jp

※この印刷物は、印刷用の紙ヘリサイクルできます。

「大学コンソーシアムやまがた」は、山形県の高等教育の充実・発展と地域社会への貢献を目的として平成16年に設立し、現在、県内12の高等教育機関及び山形県で構成している。
昨年、これまでの事業・組織を点検・評価するとともに、平成22年度からの5年間で第2期と位置づけた事業計画を策定した。併せて、学長・校長等による「高等教育山形宣言」を発表して、5月に山形駅前に新たな活動拠点「ゆうキャンパス・ステーション」を設けるなど、新たな「挑戦」を開始している。
当シンポジウムでは、これらの「挑戦」について学生はもとより、全国の大学関係者及び山形県民の皆さまに紹介したい。併せて、先進的な取組を実施している京都や東北地方の大学コンソーシアム関係者とのパネルディスカッションを通して「なぜ大学は連携するのか」を明らかにするとともに今後の大学コンソーシアムの将来像や課題について考える場としたい。

「なんたつす？」
「大学コンソーシアム」
くなして大学は
連携するんだべ？

日時：平成23年 **2月7日月** 13:30～16:45

場所：ホテルメトロポリタン山形

対象者：全国の学生及び大学関係者、一般市民 100名

主催／大学コンソーシアムやまがた

後援／公益財団法人大学コンソーシアム京都、財団法人 新技術振興渡邊記念会

スケジュール

- 13:00 受付開始
(司会：櫻井 真 氏 東北芸術工科大学2年)
- 13:30 開会 大学コンソーシアムやまがた企画会議委員長 下平 裕之 氏 (山形大学人文学部准教授)
- 13:35 主催者あいさつ 大学コンソーシアムやまがた会長 結城 章夫 氏 (山形大学長)
- 13:45 基調講演「高等教育の現状と大学間連携への期待(仮題)」
文部科学省高等教育局長 磯田 文雄 氏
- 14:25 報告「学生宣言プロジェクトの紹介」
大学コンソーシアムやまがた「宣言プロジェクト会議」委員
伊藤 早紀 氏 (東北芸術工科大学2年)
信夫 椋 氏 (東北文教大学1年)
矢作 美季 氏 (山形工科短期大学校2年)
- 14:55 休憩
- 15:10 パネルディスカッション
パネリスト 大学コンソーシアム京都事務局長 西浦 明 氏
大学コンソーシアム京都加盟大学学生
大学コンソーシアムあきた事務局長 藤井 和明 氏
アカデミアコンソーシアムふくしま企画運営委員長 清水 修二 氏
大学コンソーシアムやまがた企画会議委員 横井 博 氏
ファシリテーター 大学コンソーシアムやまがた企画会議委員長 下平 裕之 氏
- 16:45 閉会
- 17:30 情報交換会(会場移動)
- 19:00 終了

申込方法

チラシ裏面の申込書に必要事項をご記入の上、
FAXまたはE-mailにてお申込ください。

申込期限

平成23年1月21日(金)

問合せ先

大学コンソーシアムやまがた事務局
TEL：023-628-4842
FAX：023-628-4820
E-mail：unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

第二回 山形大学雪合戦大会



この雪合戦大会は学部間の交流を目的に行います。

たかが、雪合戦と思うかも知れませんが、公式ルールもありとても白熱した合戦が待っています。友人との交流はもちろん、他学科との交流を深めてみませんか？冬の合戦に向けて多くのチームの参加をお待ちしております。

開催日 平成23年2月12日(土) ※12:00 開始予定

会場 工学部グラウンド(予定)

ルール 1チーム人数：7人

1試合：3セット（1セット：2分30秒、持ち玉45球）

相手陣地の旗を奪うか、相手チームメンバー全員に雪玉を当てれば勝利！

目的 6学部の学生が雪国山形で学んでいることを再確認するとともに、雪国発祥のスポーツである雪合戦をとおして学部間の交流を深めること。

備考 審判を含め、大会の運営は実行委員の学生を中心に行います。

連絡先 工学部 学生サポートチーム 学生・就職支援担当

TEL 0238-26-3017 FAX 0238-26-3406

雪合戦実行委員会委員長（江田章吾）

Mail: n.b.c.b.m.11161965.y.o@docomo.ne.jp



山形大学大学院ものづくり技術経営学専攻 社会人特別選抜入試案内

価値と利益を創造する技術経営学

事業展開や
組織のマネジメントで
悩んでいませんか

収益があがらず
先行不安を
抱えていませんか

どうしたら良いのか
分らず
困っていませんか

ものづくりコース

- 自社の持つ製品に更なる付加価値を付けて価値創造を行い、戦略・戦術をもって組織の利益増大のために人・モノ・金・技術などを高度にマネジメントできる人材を育成する。



【技術経営学専攻共通科目】

実践に主眼をおいた
技術経営学 (MOT) の
基礎科目および応用科目



食品創製コース (食農の匠)

- 研究開発から消費に至る価値創造プロセスを深く理解し、広く実践が展開できる食農分野のエキスパートを育成する。生産技術に加えてマーケティングやマネジメントを柔軟に実践できる「食農の匠」を輩出する。



グローバル戦略コース(世界俯瞰の匠)

- 日本が世界に誇るものづくりを基盤として世界市場を俯瞰し、高付加価値型事業を世界規模で展開する能力を育成する。グローバルな視点からのマネジメント能力、技術と経営の戦略構築能力に優れた「世界俯瞰の匠」を輩出する。



とうほくMITRAIコース (留学生対象)

- 優秀な留学生を受け入れ、MOTに関する専門的教育を受けるとともに、日本企業の文化・風習などを理解し、高いコミュニケーション能力と日本語能力を習得する。修了後は日本企業に就職し、日本と海外を繋ぐ中核的人材として育成する。



MOT専攻にはその答えを導出する方法と学問があります



<技術経営学(MOT)とは>

技術に関する知識・技能に加え、マーケティングや管理会計などの企業経営に関するマネジメントの知識・技法を大学院の専門教育課程で学び、文理融合の能力を有して大学院を修了したものを、技術経営学 (MOT) 修士と呼びます。

※高校卒の方であっても「入学資格審査」に合格すれば出願が可能です。まずは募集要項をお取り寄せください。



問合せ先

山形大学大学院理工学研究科ものづくり技術経営学専攻事務局

〒992-8510 山形県米沢市城南4-3-16 TEL:0238-26-3623 FAX:0238-26-3772

メールアドレス: motjim@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

ホームページ: <http://www.yz.yamagata-u.ac.jp/mot/index.html>

MOTのメリット

【多様な修了要件】

特許取得・助成金獲得・新製品開発・ビジネスモデルの構築など、修士論文以外でも修了することができます。そのため大学の学習を仕事に直結することができます。

【実務型教員による教育体制】

MOT専攻所属教員は、企業・行政・国際機関等に所属していた実務型教員です。そのため学問的研究だけでなく、職場における問題解決など、実践的な研究課題をテーマとして設定し、取り組むことができます。

【社会人に適した学習形態】

社会人向けに、大学の講義を金曜日・土曜日（9:45-17:30）に開講しています。講義を受講することができなかった学生に対してDVD教材を貸し出しています。

【教育訓練給付金制度と就職支援】

教育訓練給付制度を用いて学習することができます（入学金・授業料から最大で10万円が国から支給）。また高い実績を持つキャリアサービスセンターが就職活動を全面的にサポートします。

MOTの特徴

【文理融合型の横断カリキュラム】

文理融合型のカリキュラムを構築しています。そのために企業等における即戦力人材を育成するとともに、社会人にはレベルの高いキャリアアップの場を提供します。

【幅広い年齢と職種の学生層】

MOTには現在、46名の学生が所属しています。年齢は22歳から71歳までとなっており、職種も企業・行政・銀行など多様です。

【手厚い指導体制とサポート】

修士論文等の個別指導では、教員が専門性を活かして手厚く個別指導・アドバイスをを行います。またインターンシップ希望者には事前・事中の助言・指導をおこない、卒業後を見据えた就職活動を支援します。

【博士後期課程への進学】

グローバルに企業展開するうえで有利な博士の学位（工学）を博士後期課程を修了することで取得できます。優秀な修士課程の学生には博士課程への「飛び級」を認め、博士の学位を最短3年で取得することが可能です。

入学希望から入学までの流れ

①募集要項の取り寄せ（送料240円）

②出願書類の作成

③大学院入学資格審査書類提出

④出願書類の提出

⑤面接試験

⑥合否発表

⑦入学手続き

山形大学工学部入試担当 電話：0238-(26)-3013
準備書類等がありますので早めにお取り寄せください

※大卒資格を有さない方のみ（平成23年2月8日～10日）

平成23年3月2日～4日

平成23年3月11日

平成23年3月17日

平成23年3月25日～28日

<ものづくり技術経営学（MOT）専攻入学説明会の開催>

- 山形会場：山形市、上山市、山形大学共催「プロセス革新のための産学連携セミナー」
日時：平成23年2月17日（木）14:30-17:00、場所：山形国際ホテル（山形市）
講師：山形大学大学院理工学研究科教授 小野 浩幸
- 置賜会場：中小企業応援センター山形大学「学金連携システムネットワーク」主催「ITを活用した経営力強化セミナー」
日時：平成23年1月21日（金）18:00-20:00、場所：グランドホクヨウ米沢
講師：山形大学大学院理工学研究科准教授 綾部 誠
- 最上会場：最上総合支庁、山形大学主催「最上夜学」
日時：平成23年1月31日（月）18:00-20:30、場所：最上広域交流センター「ゆめりあ」
講師：山形大学国際事業化研究センター長、教授 高橋 幸司
- 福島会場：山形大学主催「山形大学大学院理工学研究科ものづくり技術経営学専攻とは」
日時：平成23年1月13日（木）15:00-16:30、場所：コラッセふくしま 402A会議室
講師：山形大学大学院理工学研究科教授・准教授 野長瀬 裕二、野田 博行

※上記時間帯のなかで説明会を実施します。会場の地図についてはMOT専攻ホームページにてご確認ください。

【山形大学大学院理工学研究科ものづくり技術経営学専攻入学説明会申込書】

※各会場で行われる入学説明会の3日前（土日祝を除く）までにお申し込みください。

FAX番号:0238-26-3772 / 電話番号:0238-26-3623 (次の年末年始期間を除く平日10:30-17:00)

※12月28日から1月3日は大学の冬期閉鎖期間であるため、できるだけFAX・郵送・メールにてお申し込みください。

※メールの場合はタイトルに「入学説明会申込」と記載のうえ下記の内容を明記してお送りください（アドレスは表面参照）

氏名（ふりがな）			
連絡先	〒		
電話番号	参加希望会場名 (会場名を記載してください)	会場	



拡がりゆく数学 山形

～数学はどんな形で社会で役立つか～

2011年02月20日(日)

時間：13:15 - 17:40

対象：高校生および一般

場所：山形大学 理学部

参加費：無料

定員：100名程度

※希望者多数の場合は、会場の都合により受講いただけないことがありますので、予めご了承ください。



アクセス情報

山形駅より「県庁前待合所」行きバスで「南高校前・山大入口」下車、徒歩7分

講演者・講演題目

「数学は新たな世界観をもたらさうか」

北海道大学教授・JST数学領域研究総括 西浦 廉政

「数学と医学のホットな関係」

岡山大学教授・JST数学領域さきがけ研究者 水藤 寛

「偶然と必然のあいだに」

北海道大学特任助教・JST数学領域さきがけ研究者 荒井 迅

「数学の限界について、数学的に考える」

京都大学助教・JST数学領域さきがけ研究者 蓮尾 一郎

「現象を理解するための数理モデル ～数学で皮膚モデルをつくらう～」

金沢大学教授・JST数学領域さきがけ研究者 長山 雅晴

参加申込み および お問い合わせ

参加申込み先

HP：http://www.math.jst.go.jp/ja/caravan/2011_entry.html

お問い合わせ先

山形大学理学部：原田 昌晃

E-mail：sympomath@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

TEL：023-628-4533 FAX：023-628-4510